

第 8 区

定数 13 名

候補者 13 名

候補者氏名（受付順）

1. 氏名 2. 生年月日 3. 主たる勤務地 4. 経歴 5. 抱負 6. 現職/新任/再任

1. 池上 徹 2. 1968/12/26
3. 東京慈恵会医科大学
4. 平成 8 年 九州大学医員
平成 12 年 広島赤十字原爆病院医師
平成 18 年 九州大学医員
平成 19 年 徳島大学助教
平成 23 年 九州大学助教
平成 29 年 九州大学病院講師
令和 03 年 東京慈恵会医科大学外科学講座
5. 日本外科学会の発程のため、先輩方のご指導ご鞭撻を賜りながら一生懸命頑張る所存でございます。
6. 現職

1. 海道 利実 2. 1963/3/18
3. 聖路加国際病院 消化器・一般外科
4. 1987 年京都大学医学部卒業
1996 年同大学院医学研究科博士課程修了
1999 年京都大学腫瘍外科助手
2009 年京都大学肝胆膵移植外科・臓器移植医療部准教授
2019 年聖路加国際病院消化器・一般外科部長
5. 日本外科学会の持続的発展には、大学病院・市中病院を問わず、臨床・学術に誠実かつ真摯に取り組む外科医の育成が必要条件です。引き続き臨床と研究のバランスが取れた熱意ある外科医の育成に尽力したいと思います。
6. 現職

1. 佐藤 彰一 2. 1974/7/26
3. NTT 東日本関東病院 外科
4. 2000 年東京大学卒業，東大病院にて研修。
2003 年東大肝胆膵・人工臓器移植外科入局。
2011 年以降，東大と埼玉医大にて助教を務め，
2016 年 NTT 東日本関東病院 外科医長。
2024 年同 外科部長。
5. 市中病院では外科医不足が年々深刻化しています。研修医や若手外科医の教育と労働環境の整備に力を注ぎ，かつ外科の魅力を積極的に発信して，若手医師の『外科離れ』に歯止めをかけるべく，全力を尽くします。
6. 新任

1. 大塚 崇 2. 1971/11/14
3. 東京慈恵会医科大学
4. 1996 年慶應義塾大学卒業，1996 年慶應義塾大学外科，2009 年ミシガン大学胸部外科臨床フェロー，2015 年慶應義塾大学呼吸器外科准教授，2018 年東京慈恵会医科大学呼吸器外科教授
5. 若手外科医の育成，国際化，外科医の地位，待遇の向上に貢献いたします。臨床，研究，教育，社会貢献を基に日本外科学会の発展に尽力する所存です。
6. 現職

1. 國原 孝 2. 1964/9/30
3. 東京慈恵会医科大学心臓外科学講座
4. 1991 年北海道大学卒 以後同大学第二外科・循環器外科関連施設
2000-2003，2007-2013 年ドイツ・ザールランド大学胸部心臓血管外科
2013 年より心臓血管研究所
2018 年より現職
5. 9 年間のドイツ勤務を経て帰国後は大動脈弁形成術の普及に腐心。現職では東京都急性大動脈スーパーネットワークの重点施設として大動脈緊急症の治療にも貢献。今後は日本外科学会の発展のために尽力する所存です。
6. 現職

1. 寺本 賢一 2. 1967/8/23
3. 日本大学病院 消化器外科
4. 平成 8 年 3 月北海道大学医学部卒業し，4 月より北大第二外科に入局。以後，関連病院にて研鑽を積む。平成 14 年 12 月外科専門医修得。肝臓手術を学ぶため平成 27 年 4 月から日本大学医学部消化器外科にて勤務。
5. 肝臓手術を学ぶため北海道より高山外科に入門して研鑽を積んできました。肝胆膵の手術は高度な技能を必要としますが，合併症のない安全な手術を今後もすすめていき，若手外科医の教育にも力をいれていきたいです。
6. 新任

1. 衛藤 謙 2. 1967/10/26
3. 東京慈恵会医科大学外科学講座
4. 平成4年 東京慈恵会医科大学卒業、研修
平成6年 同大学外科入局
平成13年 カリフォルニア大学サンフランシスコ校留学
令和3年 東京慈恵会医科大学外科学講座消化管外科分野担当教授
令和5年 同講座統括責任者
5. 外科学発展のため、若手外科医の確保および魅力ある卒後教育システムを構築したいと思います。
また働き方改革導入に合わせた外科医療の体制構築や、学問的発展のための臨床研究促進に尽力してまいります。
6. 現職

1. 林 直輝 2. 1974/1/4
3. 昭和医科大学医学部外科学講座乳腺外科学部門
4. 2000年 聖路加国際病院外科レジデント
2006年 同 乳腺外科
2008年～2011年 テキサス大学 MD アンダーソン癌センター
2022年10月より現職 昭和大学医学部外科学講座乳腺外科学部門主任教授
5. 日本外科学会指導医、日本乳癌学会指導医、評議員として、これまで学術、研究、専門医制度、データサイエンス、AI、国際など重要な領域での委員を担ってきました。日本外科学会のさらなる発展に尽力する所存です。
6. 新任

1. 渡井 有 2. 1963/10/25
3. 昭和医科大学病院
4. 平成元年昭和大学医学部卒業
平成6年医学博士取得
平成12年亀田総合病院小児外科部長
平成28年 昭和医科大学小児外科主任教授
5. 医療・教育・研究を外科分野で維持するために高難度医療に対する財源の確保が不十分と言わざるおえません。後進の医師のためにも診療報酬改定・外科医師の処遇改善に努めて参りたいと思います。
6. 新任

1. 青木 武士 2. 1968/11/16
3. 昭和医科大学病院
4. 平成5年昭和大学医学部卒業後、同大学第2外科に入局。
平成11年より3年間米国に留学し、平成23年昭和大学医学部消化器・一般外科准教授。
平成30年診療科長を経て、令和3年より主任教授となり現在に至る。
5. 外科医不足が叫ばれる中、多くの若手医師が外科学・治療に興味を持ってもらえるように環境整備に努めてまいります。また低侵襲手術のロバスト性向上に努め、先進的な低侵襲外科的治療の技術普及に尽力いたします。
6. 現職

1. 池田 佳史 2. 1962/7/5
3. 国際医療福祉大学三田病院
4. 1988年慶應義塾大学医学部卒業
2006年帝京大学医学部外科学講座准教授
2014年国際医療福祉大学教授
2017年国際医療福祉大学医学部消化器外科教授
2024年国際医療福祉大学三田病院病院長
5. 消化器外科と内分泌外科を専攻し、診療・研究・教育に情熱をもって取り組んでまいりました。外科学発展・外科医の労働環境の改善のために精進する所存でございます。何卒宜しくお願い致します。
6. 新任

1. 大木 隆生 2. 1962/8/12
3. 東京慈恵会医科大学
4. 平成17年アルバートアインシュタイン医科大学外科教授、平成19年東京慈恵会医科大学外科教授・統括責任者、第123回外科学会会頭、令和6年外科学会監事。
5. 今後も第123回会頭として掲げたテーマ「より高くより遥かへ」に込めた外科医の待遇改善、地位向上、そしてより高い治療効果等を追い求め外科学会に寄与する所存です。
6. 現職

1. 横山 登 2. 1963/12/3
3. 昭和大学江東豊洲病院
4. 1990 年昭和大学卒業
- 2016 年昭和大学 消化器外科教授
- 2020 年昭和大学江東豊洲病院副院長
- 2023 年昭和大学江東豊洲病院病院長
5. 1990 年昭和大学医学部卒，英国 St.Marks 病院外科で臨床助手として研鑽。2017 年同消化器外科教授。外科系基盤学会としての立場を整え，若手医師の育成と本学会の発展に貢献したい。
6. 現職